

平成23年度 決算の概要

平成23年度国東市の決算概要をお知らせします。

一般会計の歳入決算額は207億3,507万5千円で、前年度と比較して3億9,713万1千円、1.9%の減となっています。

一方、歳出決算額は202億9,632万5千円で、前年度と比較して3億1,241万3千円、1.5%の減となっています。

このように歳入・歳出決算規模が縮小した主な原因は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金等の有利な国の経済対策を利用した事業がなくなったこと等によるものです。

一方、これまでの積極的な歳入一般財源の確保と歳出一般財源の削減により、市の貯金である基金残高は、一般会計では年度末で約91億円となり、前年度と比べて約2億円の増、全会計では年度末で約107億円となり、前年度と比べて約1億円の増となりました。

また、市の借金である市債残高は、一般会計では年度末で約235億円となり、前年度と比べて約17億円の減、全会計では年度末で約366億円となり、前年度と比べて約1億円の減となりました。

今後も健全な財政運営を保つていくためにも、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

国東市基金残高の状況

(単位：千円)

	平成19年度末	住民一人 当たり額	平成20年度末	住民一人 当たり額	平成21年度末	住民一人 当たり額	平成22年度末	住民一人 当たり額	平成23年度末	住民一人 当たり額
一般会計	4,228,529	124	5,474,986	163	6,575,913	199	8,964,379	277	9,120,856	287
市全体	6,079,529	179	7,187,006	214	8,193,368	247	10,572,613	326	10,694,630	337

※定額基金（国保高額療養費付基金等）は除いている

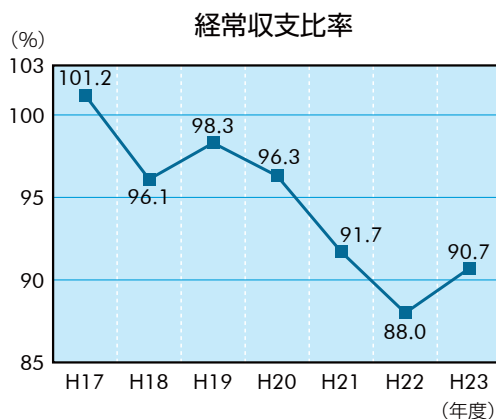
※工業用水及び市民病院特別会計は現金・預金・有価証券の合算額を基金とみなし計算している

国東市借入金残高の状況

(単位：千円)

	平成19年度末	住民一人 当たり額	平成20年度末	住民一人 当たり額	平成21年度末	住民一人 当たり額	平成22年度末	住民一人 当たり額	平成23年度末	住民一人 当たり額
一般会計	28,857,559	850	27,395,453	817	26,452,999	799	25,222,518	779	23,540,832	742
市全体	41,991,442	1,236	39,850,763	1,188	38,204,444	1,154	36,696,253	1,133	36,578,189	1,152

財政構造の弾力性



経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する指標として使用されるもので、人件費、公債費（借金の返済）などの経常経費の一般財源に、市税、地方交付税などの経常的な収入の一般財源がどの程度充てられるかを示すもので、比率が低いほど財政運営上では余裕があるということになります。

平成23年度は、歳出（経常）が8,923万1千円の微増（+0.7%）にとどまったのに対し、普通交付税が1億9,206万7千円の減（△2.1%）と大きく落ち込んだことなどが影響し、歳入（経常）では3億1,941万4千円の大幅減（△2.4%）となったため、経常収支比率は対前年度比で2.7ポイント悪化し90.7%となりました。